

カンボジア王国



カンボジア・レポート： 「ジェンダー主流化の現状と重要戦略」

JICA研修コース
「行政官のためのジェンダー主流化政策(2008年)」

テ・チュム・ハック
カンボジア女性省(MoWA) 副局長
カンボジア王国政府

内容

1. カンボジアにおけるジェンダー主流化の現状
2. JICA研修プログラムによる知見に基づくジェンダー主流化推進のための重要戦略



昆明

中国南部

ミャンマー

●ヤンゴン

ハノイ

ラオス

○ ビエンチャン

タイ

●バンコク

ベトナム

●マニラ

フィリピン

カンボジア

●プノンペン

ブガワン

ブルネイ

マレーシア

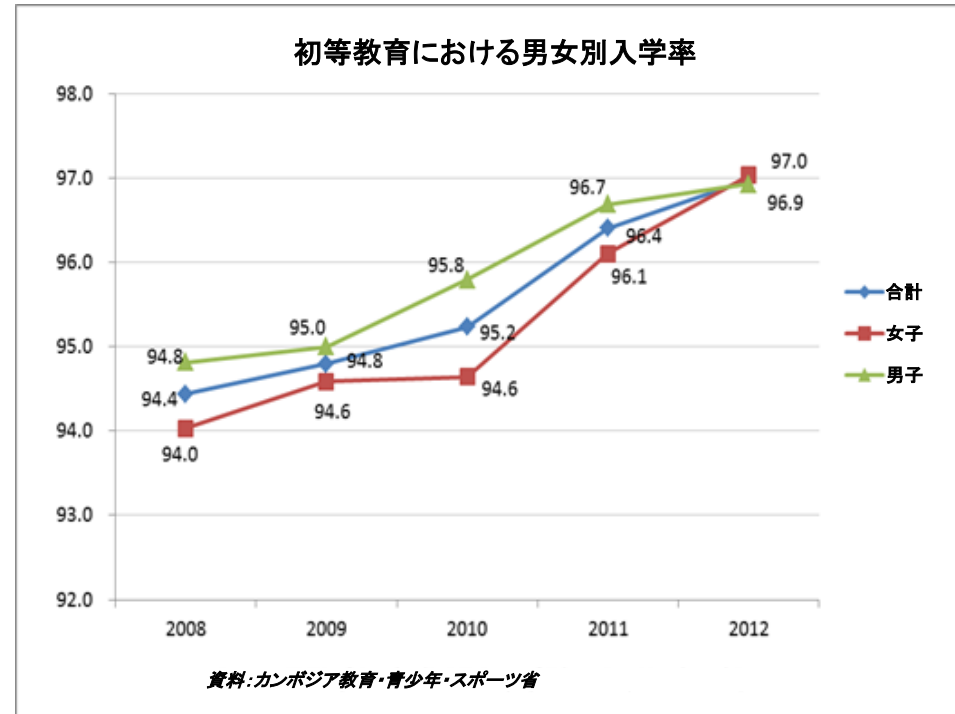
クアラルンプール

シンガポール

ジャカルタ
インドネシア

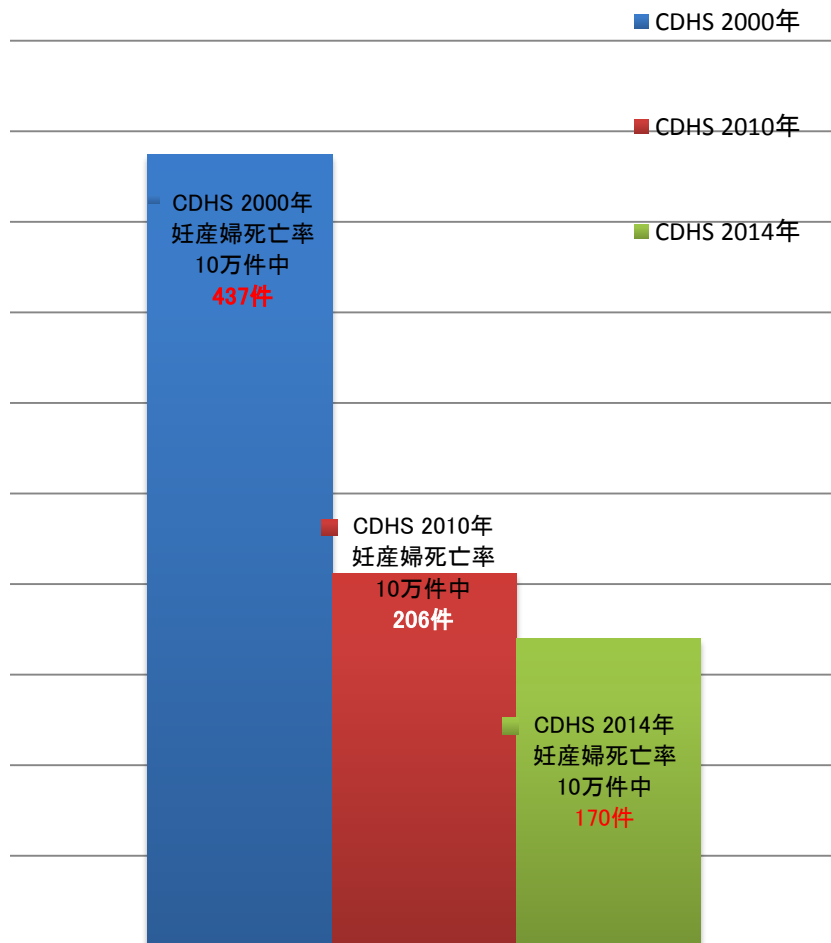
教育におけるジェンダー

- カンボジアでは、過去20年間でジェンダーの平等はめざましく進展した。
- 教育分野では、ジェンダーの平等は初等レベルおよび前期中等教育で十分に達成されているが、後期中等・高等教育では格差が残っている。後者では、入学における格差が課題として根強い。



ジェンダーと健康

2000～2014年の妊産婦死亡率



カンボジアは妊産婦死亡率の低下で大幅な進展を遂げたが（2014年は出生数10万件当たり産婦の死亡は170件）、地域平均と比較して高い割合にとどまっている。

CDHS:カンボジア人口保健調査

女性・女児に対する暴力

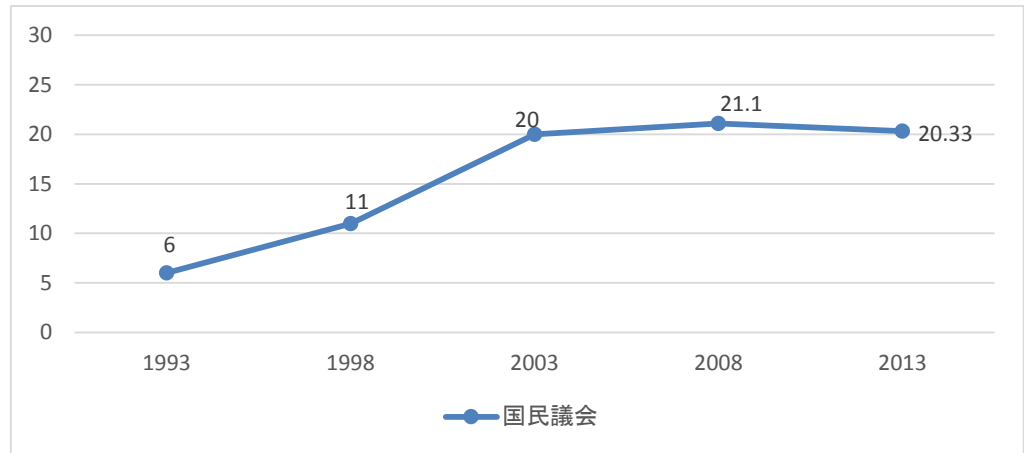


- ジェンダーによる暴力の防止・撲滅を目的として、該当する暴力に対応する法律・政策が整備され、積極的に強化された。
- 女性被害者向けの司法、保健、社会福祉サービスが改善された。
- しかし、女性に対する暴力、および女性・児童の人身売買は依然として課題である。問題の原因には、社会と家庭に存在する性の規範と女性差別がある。

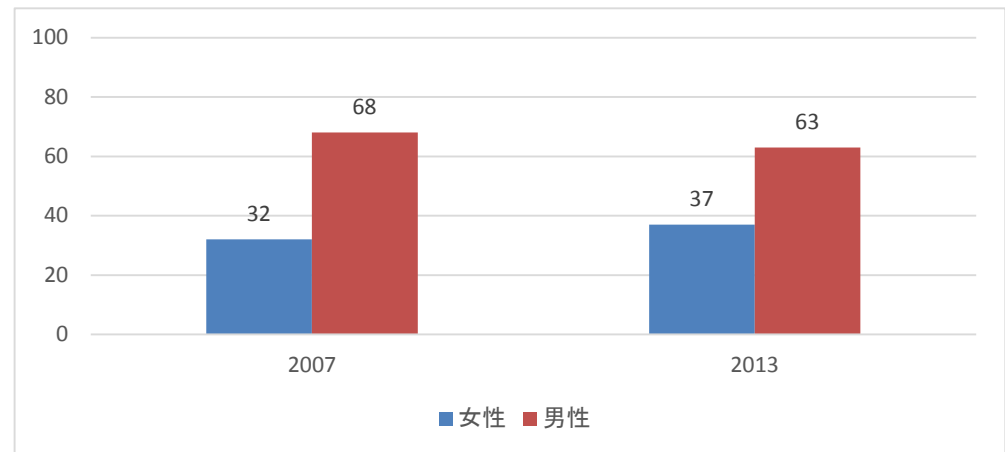
公共の意思決定・政治における女性

- 国民議会では、女性議員が20年間で3倍以上に。
- 2013年に副首相、閣僚、大臣、次官ポストにおける女性の数が増加。
- 公官庁における女性の割合は2007年の32%から2013年には37%に増加。
- 地方レベル: 州副知事(20%)、郡副知事(29%)、第1副町長(11.6%)、町議(18%)

国民議会に占める女性議員の割合 1993～2013年(%)



カンボジアにおける公務員の比率 2007～2013年(%)



女性の経済的権限の強化

- 賃金による雇用は女性に多くの機会を提供するが、低賃金や劣悪な労働条件などの課題がある。
- 女性による中小企業(MSME)の創設・拡大には大きな潜在性があるが、資金調達を含めた事業関連のサービスや資源へのアクセスが制限されていることが足かせとなっている。

| 事業活動 | 企業数 | | |
|-------------------|---------|---------|---------|
| | 合計 | 男性経営者 | 女性経営者 |
| 企業全体 | 505,134 | 176,128 | 329,006 |
| | 100.0% | 34.9% | 65.1% |
| 卸売・小売業、自動車・バイク整備業 | 289,130 | 73,516 | 215,614 |
| | 57.2% | 14.6% | 42.7% |
| 宿泊・外食サービス業 | 69,569 | 14,612 | 54,957 |
| | 13.8% | 2.9% | 10.9% |
| 製造業 | 75,031 | 39,998 | 35,033 |
| | 14.9% | 7.9% | 6.9% |
| その他 | 71,404 | 48,002 | 23,402 |
| | 14.1% | 9.5% | 4.6% |

(資料:カンボジア計画省統計局(NIS)、経済国勢調査、2011年)

ジェンダー主流化

- 政府はジェンダー主流化対策強化のために女性省 (MoWA) から専門的支援を受けた男女共同参画活動グループを全省に設置した。
- 地方レベルでも、女性および児童のための諮問委員会などジェンダー主流化に関する専門機構がある。

ジェンダー主流化に向けた今後の課題

1. 最優先課題は、徹底したジェンダー分析に向けた関係省庁の能力。
2. 女性省、カンボジア国家女性評議会、および関係省庁のジェンダー作業部会の連携・協力体制が依然として脆弱であること。
3. ジェンダー主流化は依然として女性省の管轄だと認識されていること。

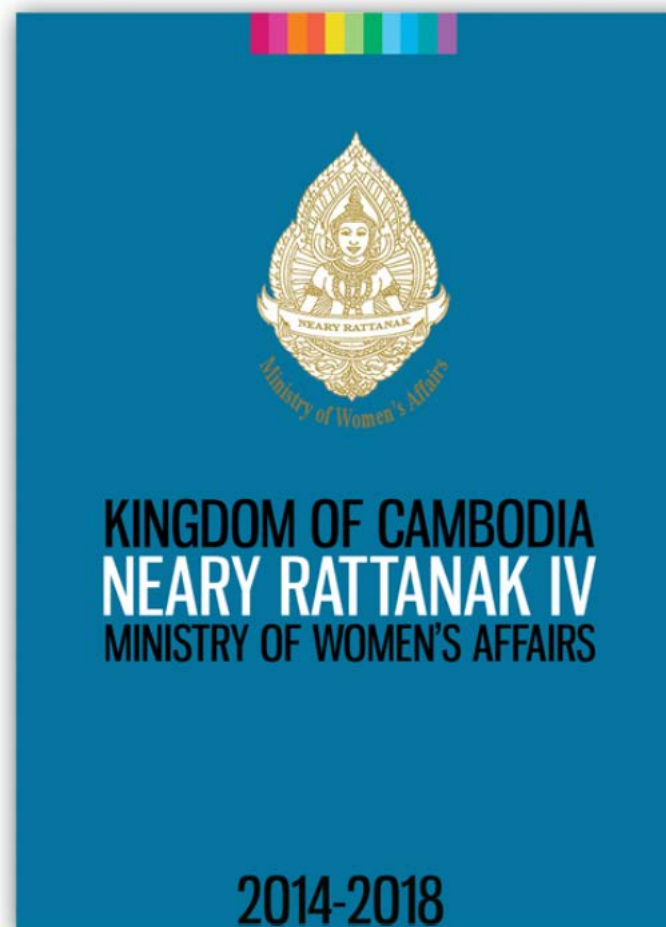


JICA研修プログラムによる知見に基づく ジェンダー主流化推進のための重要戦略

ジェンダーの平等に向けた国家戦略計画 (2014～2018)

現行の第4次男女共同参画戦略計画で、政府は以下の重要優先課題に対する継続的な支援の取り組みを強く表明している。

- 女性の経済的権限の強化
- 女性・女児の教育、行動様式の変化
- 女性・女児に対する法的保護
- 女性・女児の健康と栄養、HIV・エイズ問題
- 政策決定に対する女性の参加促進、政策・プログラムにおけるジェンダーの主流化
- ジェンダーと気候変動





- 私は2008年、地方行政を管轄する上級責任者だった際にJICAの研修に参加した。担当プロジェクトはカンボジア国内25州のうち1州における政策決定への女性の参加促進だった。プロジェクトは成功裏に運び、全国へ拡大した。
- 2012年には女性省において、ジェンダー・メインストリーミングおよび女性の経済的発展を管轄する副局長に昇進した。

2008年のJICA研修プログラム
で得た知見によって
現在の職務を遂行する
能力が支えられている。

主な職責

女性省における技術的調整の指揮

女性の経済的发展

- 関係省庁においてジェンダー主流化を経済開発目標に盛り込むための能力の構築
- 女性省女性開発センターによる職業訓練および起業意識の啓発への支援
- 専門職業教育・研修(TVET)プログラムにおける性差別撤廃に向けた関係省庁および民間セクターとの連携

政策決定への女性の参加促進、ジェンダーの主流化

- 能力開発プログラムへの参加を含め、公官庁や政治的地位における女性の積極的な登用に関する関係者との協力および提唱
- 若手リーダーを含め、政府や国民議会、地方行政における女性指導者のネットワーク強化に向けた調整
- 国家・部門別のジェンダー対策戦略、および政府の改革プログラムを強化するための関係者との連携
- 国・地方レベルの関係職員に対するジェンダー主流化のための能力開発、およびモニタリング



-  mwa@online.com.kh
-  www.mowa.gov.kh
-  fb.com/mowa.gov.kh
-  youtube.com/mowagovkh